

今月の
イチ押し交通安全青森県キャラバン隊が
やってきました

交通死亡者数の減少を目指して青森県が独自に行う交通安全キャラバン隊が8月28日(休)、薄市小学校を訪れ、学校玄関前で交通安全教室を開催しました。

時速5キロで衝突したときの衝撃を体験する乗車体験や夜間の反射材の見え方を学ぶ体験会、白バイの乗車体験が行われ、児童たちは思い思いの体験に挑戦して楽しみながら交通ルールを学びました。

また、会場では青森県交通安全母の会連合会から三上副町長に知事からのメッセージが伝達され、町内の交通安全に一層努力することを誓いました。



秋の全国交通安全運動を実施しました

交通安全の意識を醸成し交通事故を防ぐことを目的に、町内の5か所で秋の交通安全運動が行われ、初日の見守りは中里駅前に濱舘町長も参加しました。

町関係者が9月22日から30日まで通学する児童や生徒の安全を見守りました。

近くに住む児童たちが一緒に登校する姿が多くみられ、児童からは「おはようございます」と元気な声が飛びました。

ドライバーの皆さんは歩行者優先の意識をもって、安全運転を心がけましょう。



横断歩道はきちんと止まろう!!



交通安全の意識を高めようと、武田小学校管内の横断歩道に足形ストップマークの貼付け作業を行いました。

五所川原警察署、交通安全母の会とともに武田小学校の児童が協力して作業を実施し、取れなかったマークを貼りなおしたり、危険な箇所に新たに貼付けを行いました。

貼付け作業は管内の小中学校付近の道路を対象に、毎年順番に行っていきます。

